

英語で自分の考えを話すことができる子供を育てる

～他者とともに探究する自律学習の活動を通して～

注目!!

「世界全員にとって生きやすい社会」「絶滅危惧種の保存」「大規模災害時に外国人を守る重要性について」「先人が残してくれた人権をどう守るべきか」について、**中3生全員**が自分の考えを持ち、**教科書の表現**を使うことで、**事実や根拠をもとに論理的に伝える**ことができる授業法を発見！

できるための工夫

教科書の指導計画案通りの授業進行ではなく、**教科書**授業デザインの**素材を活かしつつ、年間の授業デザインを見直した**（イメージ図）
（1学期は**インプット・インテイク**、2学期は**アウトプット**）。

1学期の習得時も、**英語が伝えようとすることをなるべくそのままわかるように**し、内容が提起する課題について、賛成・反対など、考えを持つであろうことに対しては選択肢として提示し、表現を習得させてきた。

教科書の内容はもとより、選択肢になりそうな例文も、同じ内容を「話す」「読む」「書く」など**複数の活動を通して定着**を図ってきた。

アウトプット方法も子供たちに任せっきりにするのではなく、**課題設定、ループリックによる制御**など、教科書の内容を活用することで十分に達成できるレベルにコントロールしている。

Unit1 (10時間)	インプット インテイク アウトプット
Unit2 (10時間)	インプット インテイク アウトプット
Unit3 (10時間)	インプット インテイク アウトプット
Unit4 (10時間)	インプット インテイク アウトプット



Unit1 (6時間)	インプット インテイク
Unit2 (6時間)	インプット インテイク
Unit3 (6時間)	インプット インテイク
Unit4 (6時間)	インプット インテイク
探究活動	アウトプット

インプット・インテイク提示資料（イメージ図）

This is a graph. shows voter turnout by age in Japan. The highest of all age groups is among people aged , with 72.0%. The lowest turnout of all is among people aged , with 33.9%. This shows that people in Japan are more likely to vote, while younger people are likely to take part in elections. Japan's overall voter turnout is . Compared with other countries, the voter turnout is not .

After you become eighteen, will you vote in the elections?

Yes, I .
No, I .

➡ + 3 文

After you become eighteen, will you vote in the elections?

Yes, I .
No, I .

➡ + 1 分間会話

探究活動の流れ

①課題の設定

課題設定は先生が行う。
課題は教科書の情報を使える設定にする。

ポイント

共同編集できる振り返りシート（表計算ソフト）に進捗を入力する。



誰がどこで躓いているかが可視化されているため、根拠を持って先生が子供一人ひとりにアドバイスすることができる。

振り返りシート（表計算ソフト）にスライドへのリンクを貼っておく。



子供たち同志で他者参照ができることにより、思考をさらに活性化させることができる。

探究活動は、1人で行っても、ペアやグループで行ってもよい。



学び方も自由に選択させることで、自律的に学ぶ態度を育成する。

②情報収集

教科書の情報など、現在持っている情報を確認する。
更に必要な情報は何か、アイデアを出す。
インターネットなどを活用し、更に必要な情報を収集する。

③整理・分析

以下の観点で情報を整理・分析する。
(1)集めた情報は本当に必要なものなのか。
(2)まとめるときに活用できるものなのか。
(3)どこで、どのように活用するのか。
(4)情報を比較し・分類して、情報の関係性や新たな価値を見出してみる。
(因果関係・抽象具体・対比・逆説・時系列・類推)

④まとめ・表現

整理・分析した情報をもとに、論理的に伝えるためにはどのような流れが最適かを考え、スライドにまとめ、英語で伝える。

提示資料（イメージ図）

①課題

基本的人権の1つである政治に参加することの権利が与えられていることの素晴らしさや、その重要性を過去の事例とともに伝え、政治に興味を持ってもらえるように自分の考えを伝えてみよう。

②情報収集

どんな情報を現在持っていますか。どんな情報が必要ですか。

アイデアを出してみよう

②情報収集

③整理・分析

④まとめ・表現

③整理・分析

(1)集めた情報は本当に必要なものなのか。
(2)まとめるときに活用できるものなのか。
(3)どこで、どのように活用するのか。
(4)情報を比較し・分類して、情報の関係性や新たな価値を見出してみる。
(因果関係・抽象具体・対比・逆説・時系列・類推)

②情報収集

③整理・分析

④まとめ・表現

④まとめ・表現

整理・分析した情報をもとに、スライドにまとめて英語で伝えてみよう。

②情報収集

③整理・分析

④まとめ・表現

評価

4つの課題について3分間スピーチをしたものを動画撮影して提出する。

パフォーマンステストの評価基準と照らし合わせ、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」について評価する。「知識・技能」については単元末テストで評価する。

文法の正確さで評価はせず、事実や根拠を基にわかりやすく説明しようとしていることを評価する。

単元の評価基準（イメージ図）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・【知識】間接疑問文とSVOO（what節）の文、現在分詞・過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・【技能】間接疑問文とSVOO（what節）の文、現在分詞・過去分詞を用いた文の理解をもとに、言葉に情報を加えて書く技能を身に付けている。（書くこと）	・災害時における外国人支援の必要性を多くの人に分かってもらうために、災害時に起きた事例を根拠にしながら、自分の考えについて伝えている。（話すこと[発表]）	・災害時における外国人支援の必要性を多くの人に分かってもらうために、災害時に起きた事例を根拠にしながら、自分の考えについて伝えようとしている。（話すこと[発表]）

授業者の先生より

これから実践しようとする先生方へのアドバイス

学校の実態に合わせ、**どんな子供になってほしいか、単元で何を教えたいかを考え**、教科書をそのままするのはなく、**単元デザインし、課題設定**することが重要です。

まずは、**リテリング（retelling）から初めてみては**いかがでしょうか。

授業を他者に見てもらい、他者からの意見をもらうことも、気づきがあり、より良い授業を創っていくためには必要だと考えています。



ICTサポータより

インプット活動・インテイク活動を通して**日本語に訳す活動をしていない**のがポイントです。

英語で自分の考えを話すことができる子供が育つと思いました。



教頭先生より

今では**学力調査結果も上がり**、教育委員会や保護者にも理解してもらっていますが、新しい授業スタイルを実践するには、子供たちや保護者から反発があり、学校や教育委員会にクレームが入ることもありました。1人では無理です。**周りがサポート**をし、教育委員会や保護者にも説明する必要があります。

現在も各教科で自由進度学習を進めています。今後は校内で横連携をし、総合などでも探究活動を進めていきたいと考えています。



おすすめICT活用事例のご紹介

区分	学年	教科	単元	活用ソフト
中	3	英語	Speaking（3分間スピーチ）	表計算ソフト・プレゼンテーションソフト・カメラ・ブラウザ

単元の目標：相手に納得してもらうために、事実や根拠をもとに論理的に伝えることができる。
本時の目標：4つの課題について、事実や根拠をもとに論理的に伝えられるよう、ルーブリック（評価基準）を参考に目標レベルを設定し、情報収集を行う。（1/16時）

単元の流れ（イメージ図）

1	帯活動	探究活動（本時）
2 〜 15		探究活動
16		探究活動 パフォーマンステスト （動画撮影）

準備：ルーブリック（評価基準）を配付する。表計算ソフトで振り返りシートを準備する。

1. 帯活動

- ①QA ※話すことの活動
- ②PD（写真描写）※話すことの活動
- ③SSR（Short Story Readeing）※読むことの活動
- ④スモールトーク ※話すことの活動
- ⑤3mins Writing（or Dictation）※書くことの活動

2. 探究活動の流れ・ルーブリック（評価基準）を確認

- ①課題の設定
“How can I make our society more comfortable for everyone?”
“Why is it important for everyone?”
“Is it necessary to support foreign people when disasters happen in Japan?”
“How should we protect our human rights that people in the past left to us?”

- ②情報収集
教科書の既習事項やインターネットなどから必要な内容を集める（プレゼンテーションソフト）。
- ③整理・分析
論理的に伝えるために、どのような流れが最適かを考える（プレゼンテーションソフト）。
- ④まとめ・表現
事実や根拠をもとにスピーチし、動画で撮影する（プレゼンテーションソフト・カメラ）。

ルーブリック（評価基準）

3年生 スピーキングテスト【概要&評価規準】※3分程度のスピーチ					
トピック	産出レベル A（5）	理解レベル A（4）	評価規準 記憶レベル B（3or2）	Unit Activity じっくりコース	- C（2or1）
	本時評価				
[Unit1] “How can I make our society more comfortable for everyone?”	①A段階に加えて、英語の発音・テンポ・伝え方にも十分、練習の成果が見られる。	②英語が素直に聞こえるような発音にしている。 ③より多くの人が、社会生活に向けて意識を育てるために、私たちにできることや社会はどのような状況に置かれているかを伝えようとしている。 ④事実や根拠に添って、自分の考えを述べている。 ⑤スライドには、それぞれの考えが示しられている。分かりやすい。	①より多くの人が、社会生活に向けて意識を育てるために、私たちにできることや社会はどのような状況に置かれているかを伝えようとしている。 ②スライドを作成している。	【びったりのおもてなしプラン】P.16 レイチェル、パウロ、バーナールにすすめるのプランをメールで送る。	成果物がなかったため、評価ができなかった。または、形になっておらず、評価できない。
[Unit3] ② “Why is it important for us to protect endangered animals?”	①A段階に加えて、英語の発音・テンポ・伝え方にも十分、練習の成果が見られる。	②英語が素直に聞こえるような発音にしている。 ③絶滅危惧種を保護していく必要性について、知ってもらうために、絶滅危惧種の例を伝えるとともに、私たちができることや、ある保護活動の取り組みなどの事例を伝えようとしている。 ④事実や根拠に添って、自分の考えを述べている。 ⑤スライドには、それぞれの考えが示しられている。分かりやすい。	①絶滅危惧種を保護していく必要性について、知ってもらうために、絶滅危惧種の例を伝えるとともに、私たちができることや、ある保護活動の取り組みなどの事例を伝えようとしている。 ②スライドを作成している。	【守りたい日本の動物たち】P.44 守りたい日本の動物たちについての情報をまとめた、ポスターを作成する。	成果物がなかったため、評価ができなかった。または、形になっておらず、評価できない。
[Unit4] ③ “Is it necessary to support foreign people when disasters happen in Japan?”	①A段階に加えて、英語の発音・テンポ・伝え方にも十分、練習の成果が見られる。	②英語が素直に聞こえるような発音にしている。 ③災害時の外国人支援の必要性を訴えるために、根拠や事例をもとに説明しようとしている。 ④どのような支援がなされるべきか、分かりやすく説明しようとしている。 ⑤スライドを作成している。	①災害時の外国人支援の必要性を訴えるために、根拠や事例をもとに説明しようとしている。 ②どのような支援がなされるべきか、分かりやすく説明しようとしている。 ③スライドを作成している。	【いざというとき役に立つ構図】P.66 自分のあこがれの人物について説明するスライドを作る。	成果物がなかったため、評価ができなかった。または、形になっておらず、評価できない。
[Unit5] “How should we protect our human rights that people in the past left to us?”	①A段階に加えて、英語の発音・テンポ・伝え方にも十分、練習の成果が見られる。	②英語が素直に聞こえるような発音にしている。 ③基本的な人権の1つである政治に参加することの権利が与えられていることの素晴らしさや、その重要性を過去の事例とともに伝え、政治に興味をもつ、過去の人が果たした権利を守り取ることを気持に持ってもらうために、分かりやすく説明しようとしている。 ④事実や根拠に添って、自分の考えを述べている。 ⑤スライドには、それぞれの考えが示しられている。分かりやすい。	①基本的な人権の1つである政治に参加することの権利が与えられていることの素晴らしさや、その重要性を過去の事例とともに伝え、政治に興味をもつ、過去の人が果たした権利を守り取ることを気持に持ってもらうために、分かりやすく説明しようとしている。 ②スライドを作成している。	【あこがれの人物はだれ？】P.80 自分のあこがれの人物について説明することができる。	成果物がなかったため、評価ができなかった。または、形になっておらず、評価できない。

授業内容

おすすめICT活用事例のご紹介

授業内容

3. 「振り返りシート」の準備

- ①ループリック（評価基準）を参考に「目標レベル」を入力する（表計算ソフト）。
- ②スライドは白紙から作成し、「スライドへのリンク」を入力して、他者参照できるようにしておく（プレゼンテーションソフト・表計算ソフト）。
- ③「段階」「状況」は都度入力する（表計算ソフト）。

4. 探究活動

設定した「課題」「目標」が達成できるよう、「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」を行う。

【先生の関わり】

- ・探究活動は、1人で行っても、ペアやグループで行ってもよいことを伝える。
- ・既習事項やインターネットなどから必要な情報を収集するよう伝える。
- ・論理的に伝えるために、どのような流れが最適かを考えるよう伝える。
- ・振り返りシートに入力したリンクから他者参照してもよいことを伝える。
- ・振り返りシートに入力したリンクからスライドを確認し、ループリックや目標と照らし合わせて、声かけを行う。

5. 振り返り

「振り返りシート」に本時の振り返りを入力する。

振り返りシート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	:	単元の課題 より多くの人に、共生社会に向けて意識を変えてもらうために、私たちにできることや社会はどのように変							
2			スライド【リンク】	目標レベル	更新回数	振り返り	文字数	段階	状況
3	番号	氏名	Unit1						
4	1		A				0	まとめ表現	(^A▽^A)
5	2		B				0	情報収集	(. -'ω-)
6	3		A'				0	情報収集	(^A▽^A)
7	4		A				0	まとめ表現	(^A▽^A)
8	5		A				0	まとめ表現	(^A▽^A)
9	6		A				0	情報収集	(^A▽^A)
10	7		A				0	情報収集	(^A▽^A)
11	8		A				0	情報収集	(^A▽^A)
12	9		A				0	情報収集	(^A▽^A)
13	10		A'				0	情報収集	(^A▽^A)
14	11		B				0	情報収集	(. -'ω-)
15	12		B				0	まとめ表現	(^A▽^A)
16	13		A'				0	まとめ表現	(^A▽^A)
17	14		A				0	情報収集	(^A▽^A)
18	15		A				0	整理分析	(^A▽^A)
19	16		A'				0	情報収集	(^A▽^A)
20	17		A'				0	情報収集	(^A▽^A)
21	18		A'				0	情報収集	(^A▽^A)
22	19		B				0	情報収集	(. -'ω-)
23	20		A				0	情報収集	(^A▽^A)

ICT利活用のポイント

スピーチを作成する過程で、子供たち同志で他者参照ができることにより、思考をさらに活性化させることができる。どこで躓いているかが可視化されているため、根拠を持って先生が子供一人ひとりにアドバイスすることができる。

おすすめポイント

自分の考えを、事実や根拠をもとに、英語で論理的に話すことができるようになる。